

第5学年-Unit5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること (2/5時間)

1. 単元目標

- ・第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者について、できることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、小文字を読むことに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材料

○Can you (sing well)? Yes, I can./ No, I can't. [ I/ You/ He/ She][ can/ can't] (sing well).  
 ○動作(play[soccer/ badminton/ table tennis/ volleyball/ shogi/ kendama/ the recorder/ the piano], do[kendo/judo], ride a [bicycle/ a unicycle], swim, skate, ski, cook, run fast, jump high, sing well), can, she

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
5分	・挨拶をする ○Let's Chant(p.35) ・リズムに合わせて言う。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・前時に引き続き、ジェスチャーをしながらcanの表現に慣れさせる。	
5分	○Let's Watch and Think 1 ・音声を聞き、聞き取れたことや繰り返し出てきた表現によってcanや動作を表す言葉に出会う。	・まず、ヒントを与えず音声だけを聞かせ、どんなことが聞こえたかを問いかける。 ・聞き取れた単語をもとに、どのような話を推測をして、再度聞かせ、( )に番号を書かせる。 ・誌面の写真にある人物に関する知識の量は児童によってさまざまなので、活動後、どのような人物かを補足説明するとよい。	デジタル教材
5分	○Let's Listen 1&2 ・音声を聞いてどの動物なのかを考え、イラストの下に番号を記入する。	・三つのイラストが、p.34～35のどれかを確認したうえで、音声を聞かせるとよい。 ・答え合わせの際には、単に番号を確認するのではなく、I can ～. I'm ～.と続いて言うように促す。 ・and, butの使い方にも注目させたい。	デジタル教材
3分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     できることとできないことを言い合おう。                 </div> ○Small Talk: できること、できないこと	・できることや、できないことを含むやりとりを行う。児童に質問しながら進めるようにするとよい。	

Small Talk: 話題 できること、できないこと (例)

Hello. Do you like sports? I like sports very much. I can play soccer. Can you play soccer? I can swim fast. I can play basketball well. I can run fast, too. But I can't cook well. How about you?

18分	○Let's Play 2(p.37) 指導者が言う動作を表す語句を聞き、それに該当する絵を指さす。	・最初は個別で行い、慣れてきたらペアで行う。 ・二人で協力して指さす、二人でどちらが早く指させるか競争するなど、児童の様子を見て進め方を工夫するとよい。 ・15種類の表現が出てくるので、負担にならないように導入する。 例) ミッシングゲームにして、なくなったカードを当てさせる。 一枚ずつ児童とインタビューしてみる。I can ～./Can you～? ジェスチャーをしてどの表現か当てる。 ・15種類からできること1つ、できないこと1つを選び、I can～, but I can't～.という練習をし、やりとりさせる。 ◎第三者についてできることやできないことなどを紹介し合っている。(外国語への慣れ親しみ)<行動観察>	
4分	○Sounds and Letters "u"	T: Let's play "Finding words. (単語探し)" Find any words starting with /u/ from the textbook within twenty seconds. (20秒以内にテキストから「u」で始まる単語を見つけましょう。) ・指導者と児童全員で行う。制限時間を短くしていくなどするとよい。 ・見つけた単語の確認をし書く。(児童が発表した単語を黒板に書く。)	ワークシート(HF Plus)
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード